

静岡県月例経済報告

(平成27年2月号)

……平成26年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 466

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成26年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

平成26年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、このところ弱い動きとなっている。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、個人消費や生産面での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱めの動きとなっている。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

需要面

◎個人消費は、やや弱めの動きとなっている。

大型小売店販売額(12月)は、百貨店、スーパーがいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、軽自動車は2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも9か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(12月)は、持家が10か月連続、貸家が3か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも9か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(12月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成26年12月15日)の26年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は4か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しつつある。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額(12月)は、エアコン、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が5か月連続、自動車(3か月連続)、二輪自動車類(6か月連続)、科学光学機器が7か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(12月)は、魚介類が前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、944億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、弱めの動きとなっている。

鉱工業生産指数(11月)は、電気機械工業や食料品・たばこ工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも5か月連続で前年水準を下回った。また、3か月ぶりに前月を下回った。

また、産業用大口電力消費量(12月)は、5か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(11月)は、総合では7か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(12月)は1.13倍で、前月を0.01ポイント上回り、12か月連続で1倍を上回った。また、3か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(12月)は、17か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(11月)は、4か月ぶりに前年水準を下回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(1月)は、総合で102.8となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.1%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(12月)は、前年同月比3.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(12月)は、前年同月比8.7%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

企業倒産(1月)は、件数は25件、負債総額は前年同月比92.7%増と、いずれも前年実績を上回った。

《 県の取組 》

【 「ふじのくに さくや姫サミット」開催 】

静岡県内の各分野で指導的地位にある女性や、将来の管理職を目指す女性が一堂に集うサミットを開催し、情報交換や議論を行うことで、女性のネットワークづくりを促進すると共に、女性の活躍推進に向けた、社会全体の機運を盛り上げていきます。

●日 時 平成27年3月8日（日）13時～17時50分

●会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ大ホール（静岡市駿河区馬淵1-17-1）

●内 容

・基調講演 講師：東洋大学グローバルキャリア教育センター 小島 貴子 副センター長

演 題：自分らしく輝き続けるために

～働く女性を取り巻く環境と次のステージに向けて～

・活動紹介 紹介者：女性の大活躍推進福岡県会 久留 百合子 共同代表

演 題：「女性の大活躍推進福岡県会議」の活動内容と今後の展望

・分科会 テーマ1 リーダーシップで変わるチーム力 ～男性部下のマネジメントの秘訣～

2 仕事のやりがいとは ～仕事って楽しい！～

3 仕事と家庭 両立のコツ

4 憧れの女性管理職 ～こんな管理職の下で働きたい～

5 県外出身者とつくるネットワーク ～静岡でつながろう～

●参加者

・企業や行政の女性管理職の方・管理職を目指す女性の方など 200人（定員）

●主催等

・主催 静岡県/特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議

・共催（一社）静岡県商工会議所連合会/静岡県商工会連合会/静岡県中小企業団体中央会

（一社）静岡県経営者協会/静岡県農業協同組合中央会/（一財）静岡県銀行協会

（一社）静岡県信用金庫協会/

日本労働組合総連合会静岡県連合会

静岡県女性管理職の会Advance Club

●問合先 静岡県暮らし・環境部 県民生活局

男女共同参画課 電話：054-221-3363



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

12月 = 45,063百万円

*前年同月比： 1.0%減

(県内3百貨店、144スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は45,063百万円で、前年同月比 1.0%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.3%減）、スーパー（同 0.9%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食物品（同 0.1%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 4.9%減）、身の回り品（同 4.1%減）がいずれも3か月連続、家庭用品（同 8.1%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月は0.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	35,209	35,536	36,682	35,907	33,764	34,918	36,376	45,063
前年同月比(%)	▲1.5	▲1.7	▲2.1	0.2	0.8	▲0.8	▲0.9	▲1.0
うち百貨店(%)	▲4.8	▲5.6	▲4.8	1.6	3.4	▲3.7	▲1.9	▲1.3
スーパー(%)	▲0.7	▲0.7	▲1.4	▲0.1	0.2	▲0.1	▲0.6	▲0.9
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.2	▲1.8	▲0.6	1.6	0.5	0.0	1.2	0.1
うち百貨店(%)	▲2.1	▲2.4	▲0.4	2.0	1.7	0.2	1.5	0.6
スーパー(%)	▲0.8	▲1.4	▲0.7	1.4	▲0.1	▲0.1	1.0	▲0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.1	▲0.4	▲1.0	1.4	2.1	0.0	▲0.2	▲0.6

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲4.9	▲6.6	▲6.9	▲2.5	3.6	▲3.1	▲7.0	▲4.9
うち紳士服・洋品	▲3.3	▲5.9	▲6.8	▲4.2	5.6	0.6	▲7.1	▲5.1
婦人・子供服・洋品	▲5.2	▲6.9	▲6.6	▲2.7	3.0	▲4.8	▲6.4	▲5.4
身の回り品	▲4.4	▲9.1	▲5.1	▲1.7	4.8	▲7.9	▲3.3	▲4.1
飲食物品	2.0	1.4	0.5	0.8	0.9	0.9	1.5	0.1
家庭用品	▲12.2	▲9.2	▲11.8	▲4.1	▲9.1	▲8.2	▲9.6	▲8.1
うち家庭用電気機械器具	▲31.0	▲26.3	▲23.4	▲23.9	▲17.8	▲12.7	▲15.6	▲13.1

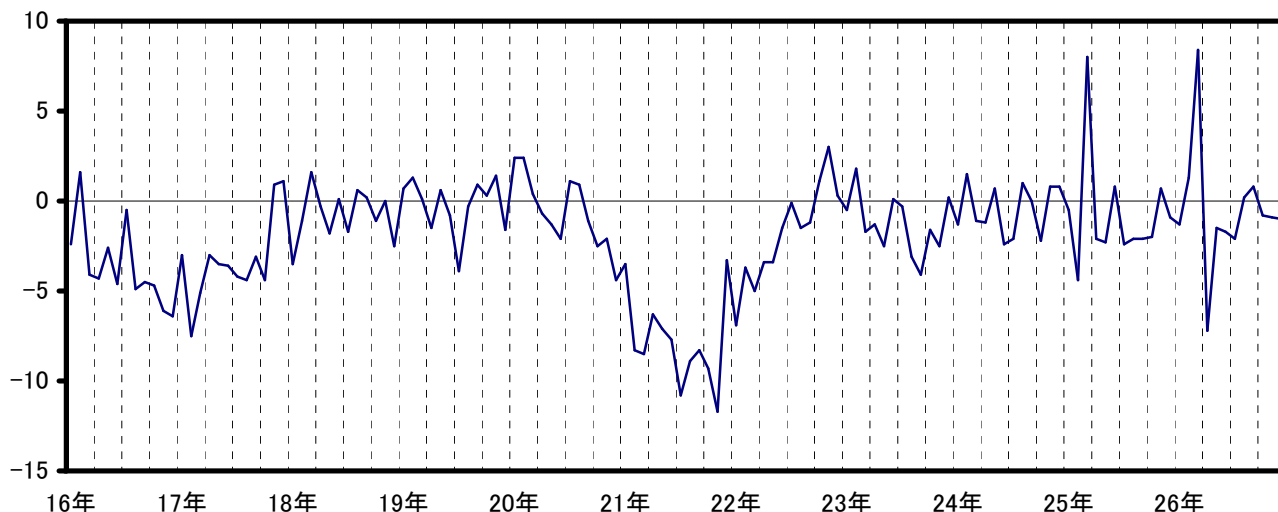
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

12月 = 9,275百万円

*前年同月比： 2.9%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

12月の県内3百貨店の販売額は9,275百万円で、3か月連続で前年実績を下回った。
 品目別にみると、雑貨（前年同月比 9.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 6.5%減）、身の回り品（同 7.5%減）がいずれも3か月連続、家庭用品（同 6.2%減）、食料品（同 2.8%減）がいずれも4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	5,882	6,162	6,785	5,195	5,700	5,986	6,921	9,275
前年同月比（%）	▲ 5.6	▲ 6.3	▲ 5.6	0.0	1.8	▲ 5.2	▲ 3.4	▲ 2.9
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 2.5	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 2.2	▲ 1.0	▲ 1.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

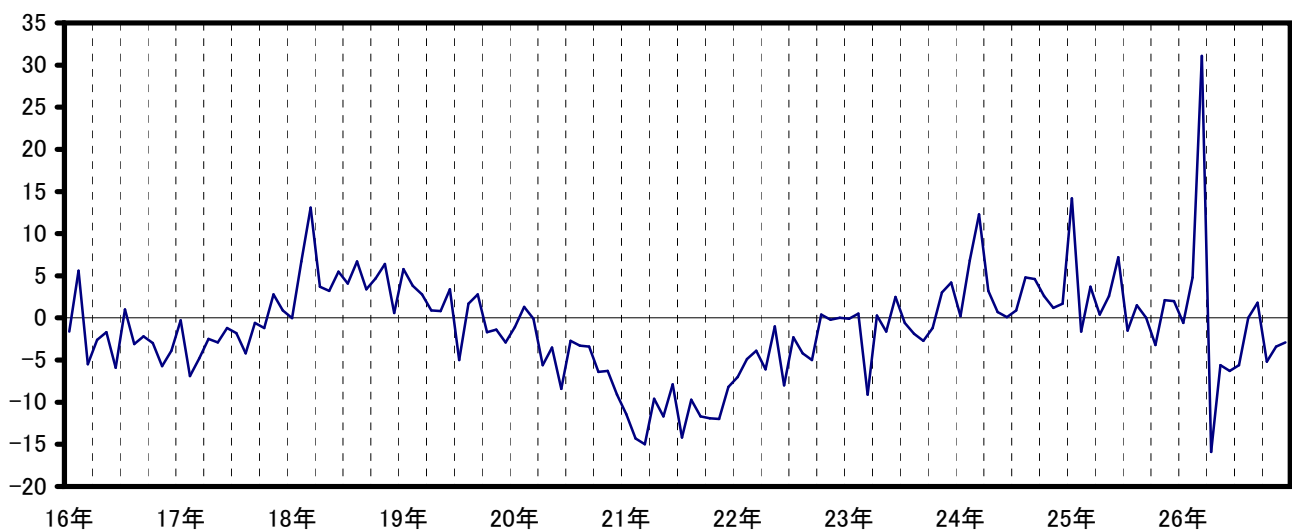
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲ 2.1	▲ 8.4	▲ 5.9	1.3	3.1	▲ 5.7	▲ 4.8	▲ 6.5
うち紳士服・洋品	0.8	▲ 6.0	▲ 4.5	3.3	3.0	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 3.7
婦人服・洋品	▲ 2.1	▲ 9.3	▲ 6.2	▲ 0.6	4.0	▲ 7.2	▲ 5.4	▲ 7.1
子供服・洋品	▲ 6.5	▲ 8.1	▲ 5.7	6.1	▲ 5.5	▲ 10.1	▲ 4.0	▲ 12.1
身の回り品	▲ 2.5	▲ 12.5	▲ 6.0	▲ 10.0	6.1	▲ 9.5	▲ 5.3	▲ 7.5
家庭用品	▲ 10.8	0.5	▲ 4.9	0.5	▲ 9.3	▲ 11.8	▲ 5.7	▲ 6.2
食料品	▲ 3.4	0.8	▲ 5.2	0.9	▲ 3.1	▲ 0.6	▲ 2.3	▲ 2.8
雑貨	▲ 18.9	▲ 10.5	▲ 5.4	0.4	4.3	▲ 6.0	1.1	9.6
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 39.2	▲ 20.6	▲ 14.1	▲ 4.1	▲ 1.9	▲ 12.5	▲ 5.3	21.0

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 14,156台

*前年同月比： 5.4%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は14,156台(前年同月比 5.4%減)となり、9か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(同 4.7%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 13.8%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	12,253	14,761	15,261	11,287	16,904	13,228	14,149	14,156
前年同月比(%)	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 12.4	▲ 12.2	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.3	0.1	▲ 2.6	▲ 9.5	▲ 3.2	▲ 7.4	▲ 10.2	0.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

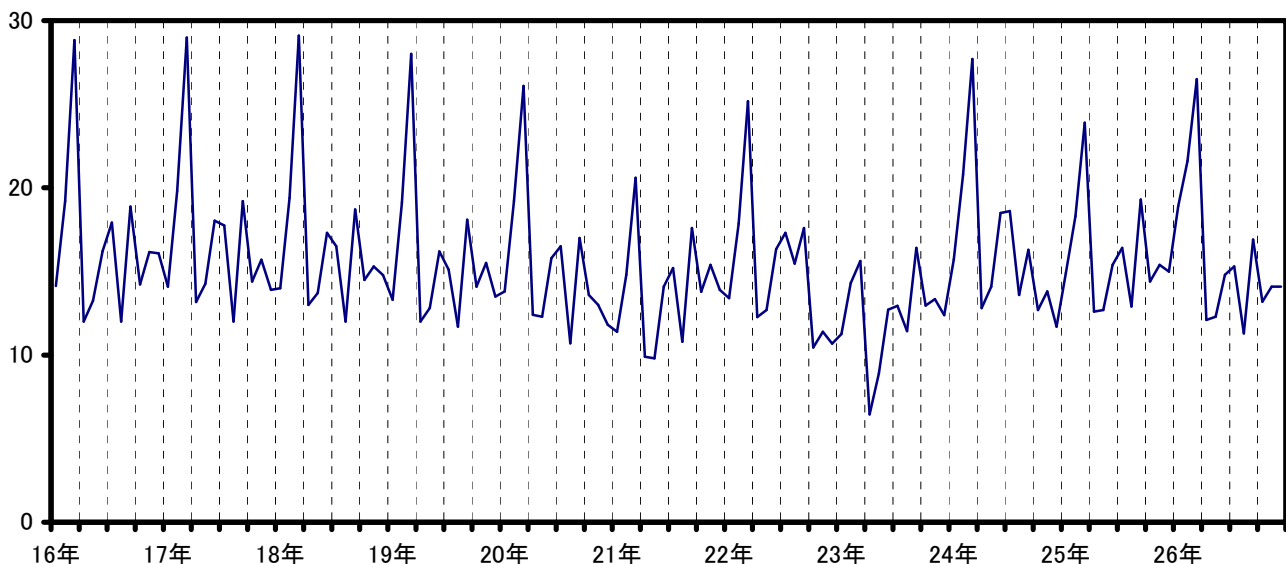
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 12.4	▲ 12.2	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4
乗用車	▲ 7.8	▲ 5.5	1.7	▲ 9.1	▲ 12.5	▲ 11.4	▲ 16.7	▲ 13.8
軽自動車	0.4	▲ 2.1	▲ 16.1	▲ 15.9	▲ 11.8	▲ 4.4	2.7	4.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,871戸

*前年同月比： 33.0%減

<概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,871戸で、前年同月比 33.0%減となり、9か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 39.7%減）が10か月連続、貸家（同 24.0%減）が3か月連続、分譲住宅（同 26.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

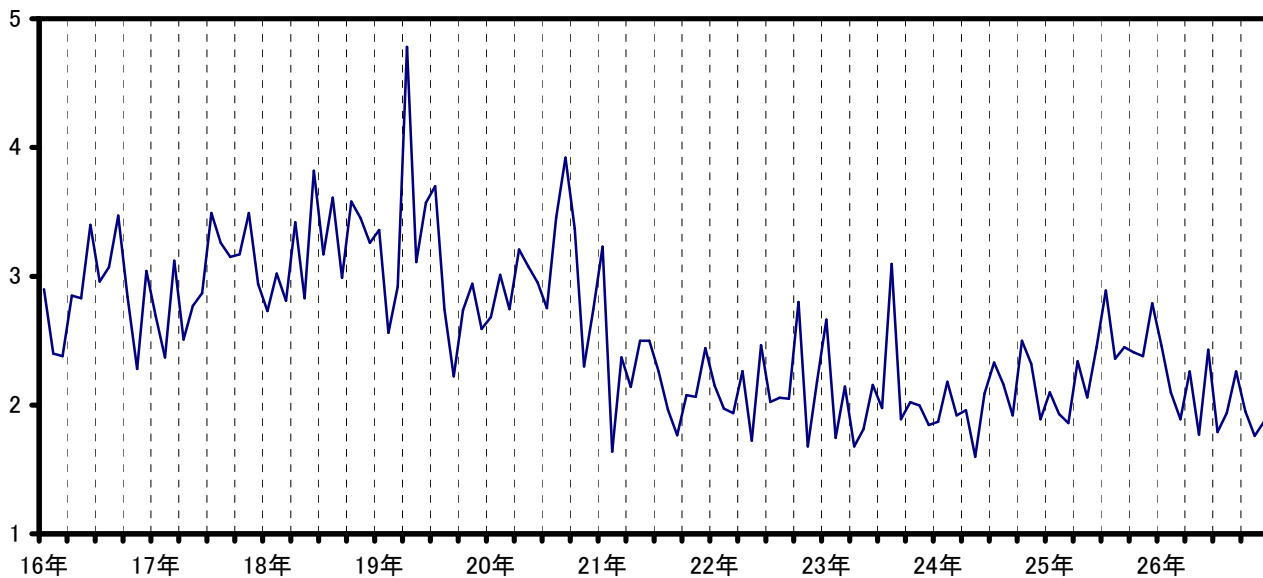
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	1,774	2,431	1,793	1,943	2,261	1,953	1,756	1,871
前年同月比（%）	▲ 13.8	▲ 0.8	▲ 38.0	▲ 17.6	▲ 7.5	▲ 18.9	▲ 26.2	▲ 33.0
うち持家（%）	▲ 29.4	▲ 16.1	▲ 39.8	▲ 26.1	▲ 23.2	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 39.7
貸家（%）	▲ 5.2	32.1	▲ 31.9	▲ 14.4	3.2	▲ 22.8	▲ 24.3	▲ 24.0
分譲住宅（%）	21.4	▲ 6.7	▲ 39.4	12.7	46.3	15.0	▲ 38.7	▲ 26.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 15.0	▲ 9.5	▲ 14.1	▲ 12.5	▲ 14.3	▲ 12.3	▲ 14.3	▲ 14.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

12月 = 15,445百万円

*前年同月比： 1.5%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は15,445百万円で、前年同月比1.5%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は749件で、前年同月比7.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	34,565	30,715	29,697	23,140	41,715	21,030	14,446	15,445
前年同月比(%)	14.3	6.7	▲4.3	▲0.9	12.8	▲22.1	▲15.2	1.5
年度累計前年同月比(%)	1.3	2.8	1.1	0.8	3.1	0.0	▲1.1	▲0.9
件数(件)	472	732	876	710	1,314	854	685	749
前年同月比(%)	▲21.6	16.2	9.5	▲6.3	15.7	▲13.3	▲19.1	▲7.9
年度累計前年同月比(%)	▲26.0	▲11.5	▲5.1	▲5.4	▲0.1	▲2.5	▲4.7	▲5.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

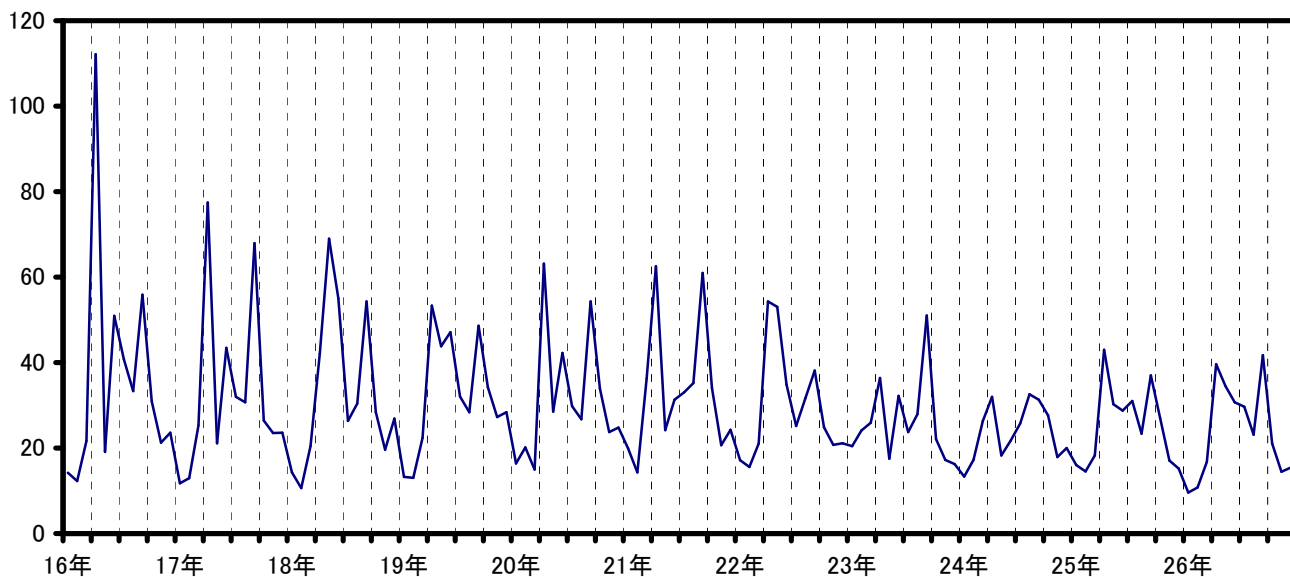
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	▲28.5	20.4	▲18.3	14.6	▲16.5	▲24.2	206.1	343.1
独立行政法人等	147.5	▲23.0	▲43.2	▲7.5	▲50.7	▲92.2	▲4.4	▲78.4
県	74.8	17.0	▲24.9	▲12.8	37.1	▲24.3	▲31.0	▲18.1
市町	▲33.9	▲7.6	25.6	0.8	17.2	▲9.3	▲27.7	▲13.6
地方公社	—	—	—	90.8	▲76.1	67.1	—	▲25.5
その他	66.0	42.8	▲47.0	9.7	▲1.9	▲18.2	59.8	1,168.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成25年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 10.9%増）、非製造業（同 21.5%増）ともに増加となり、全産業（同 15.3%増）でも増加となった。

平成26年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 30.8%増）、非製造業（同 3.5%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 18.9%増）でも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は104,484㎡で、前年同月比 23.4%減となり、4か月に前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		25年度 （実績）	26年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率	
全 産 業	県	15.3	18.9	▲ 1.4	13.4	▲ 8.6	22.6	3.5	
	全国	5.6	5.5	1.2	3.8	▲ 6.3	6.8	8.1	
	製 造 業	県	10.9	30.8	▲ 1.8	14.2	▲ 8.7	42.0	2.4
		全国	0.5	12.2	0.3	8.4	▲ 9.4	15.3	9.4
	非 製 造 業	県	21.5	3.5	▲ 0.9	12.3	▲ 8.4	▲ 2.3	5.6
		全国	8.2	2.2	1.7	1.6	▲ 4.6	2.7	7.5

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成26年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成26年12月調査）」

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	127,122	175,503	141,039	100,555	189,786	173,946	156,017	104,484
前年同月比（%）	▲ 38.8	5.1	▲ 3.2	▲ 41.0	24.8	126.4	101.5	▲ 23.4
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 11.6	4.4	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 20.4	13.3	▲ 10.9	▲ 17.3

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		26年6月	26年9月	26年12月	27年3月 （予測）
全 産 業		▲ 6	▲ 3	▲ 3	▲ 7
	製 造 業	▲ 3	2	5	▲ 4
	非 製 造 業	▲ 8	▲ 7	▲ 2	▲ 11
（参考） 全国 ・ 全産業		7	4	5	1

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成26年12月調査）」

5 輸出

12月 = 190,396百万円

*前年同月比： 7.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は190,396百万円で、前年同月比 7.7%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 19.7%減）、自動車の部分品（同 0.8%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 13.8%増）が5か月連続、自動車（同 11.5%増）が3か月連続、二輪自動車類（同 10.8%増）が6か月連続、科学光学機器（同 19.5%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、EU向け（同 17.6%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 4.6%増）が2か月ぶり、米国向け（同 32.9%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	160,484	158,152	174,561	154,661	168,706	175,584	162,486	190,396
前年同月比(%)	▲0.8	▲5.1	7.6	1.2	5.3	5.3	▲0.6	7.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	12.1	1.8	0.0	3.7	9.0	5.4	19.3	13.8
エアコン	23.8	22.2	9.2	0.8	▲12.3	39.3	▲14.9	▲19.7
自動車	▲21.7	▲54.4	▲25.6	▲11.2	▲14.6	29.0	26.9	11.5
自動車の部分品	▲6.3	▲4.8	11.7	16.9	12.4	7.3	▲13.5	▲0.8
二輪自動車類	▲21.2	▲1.2	24.9	1.1	28.6	11.3	26.9	10.8
科学光学機器	▲0.8	11.7	10.8	9.4	6.2	3.6	4.1	19.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲11.9	▲4.2	7.6	0.3	6.3	0.9	▲4.3	4.6
米国	▲2.0	▲2.6	22.9	12.9	8.0	21.7	5.7	32.9
EU	31.2	▲4.8	▲13.3	▲10.2	▲4.9	▲13.5	▲6.9	▲17.6

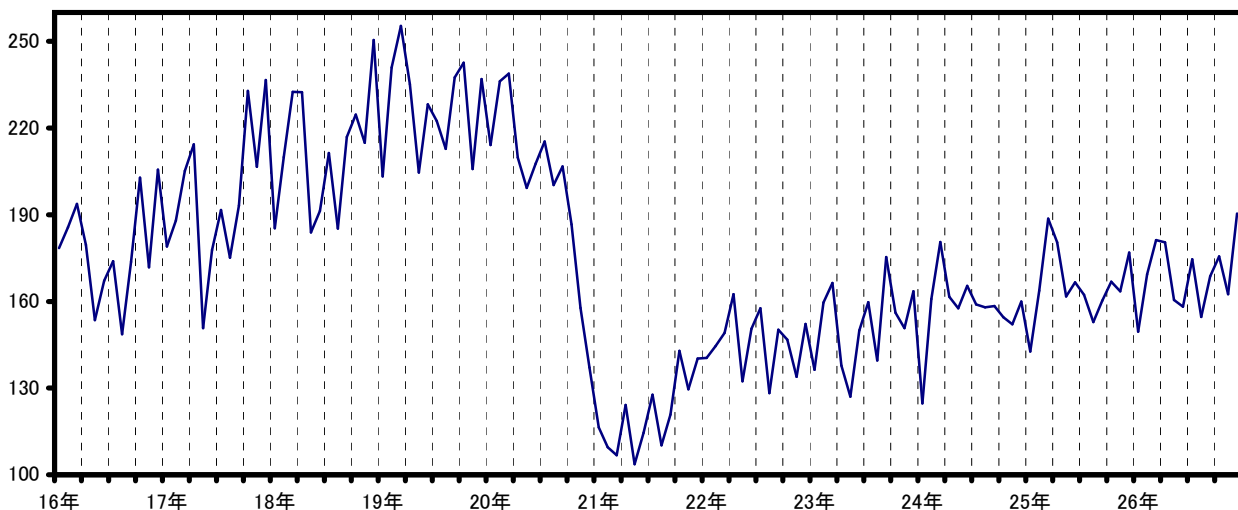
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

12月 = 95,998百万円

*前年同月比： 20.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は95,998百万円で、前年同月比 20.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 2.3%減）、パルプ（同 2.9%減）、紙類及び同製品（同 21.0%減）がいずれも2か月連続、原動機（同 48.4%減）、自動車の部分品（同 3.1%減）がいずれも9か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 9.3%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 16.3%増）、米国から（同 31.2%増）がいずれも3か月ぶり、EUから（同 2.0%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	81,375	87,394	81,100	78,737	87,976	88,351	75,548	95,998
前年同月比(%)	1.1	15.2	3.7	5.3	21.4	7.6	▲1.4	20.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	0.3	20.7	7.8	32.1	38.9	4.6	2.9	9.3
木材	▲5.2	16.1	3.1	▲29.1	1.3	23.2	▲13.2	▲2.3
パルプ	▲1.3	20.0	31.3	▲41.5	45.6	9.9	▲1.6	▲2.9
紙類及び同製品	49.6	71.3	12.3	27.1	33.9	15.6	▲11.0	▲21.0
原動機	▲7.1	▲30.9	▲77.6	▲73.7	▲73.9	▲67.7	▲67.2	▲48.4
自動車の部分品	▲15.8	▲8.0	▲9.9	▲15.7	▲6.3	▲12.1	▲18.4	▲3.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

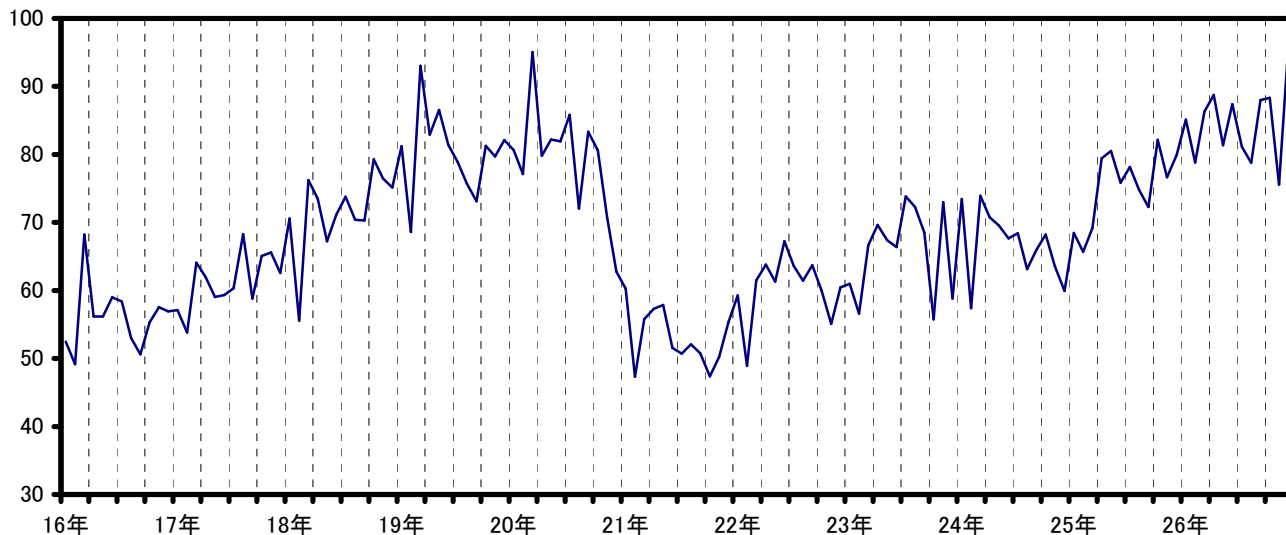
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	1.1	12.7	3.4	▲8.6	18.4	▲2.8	▲0.4	16.3
米国	5.6	9.0	▲22.8	20.6	32.7	▲6.4	▲30.7	31.2
EU	22.2	33.6	21.8	16.2	72.7	41.3	12.9	2.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

12月 = 967,630千kWh

*前年同月比 1.4%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

12月の産業用大口電力消費量は967,630千kWhで、前年同月比1.4%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、電気機械（前年同月比1.0%増）が5か月ぶり、食品（同0.4%増）が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、一般機械（同3.3%減）が5か月連続、化学（同1.2%減）、パルプ・紙・紙加工品（同5.3%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費量(千kWh)	988,439	1,054,518	1,121,830	997,227	1,050,479	1,039,590	984,002	967,630
前年同月比(%)	0.6	1.2	0.1	▲4.5	▲2.2	▲2.3	▲2.3	▲1.4
全国10社前年同月比(%)	0.0	▲0.1	▲1.1	▲2.1	▲1.5	▲2.3	▲1.2	▲0.6

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般機械工業	▲1.8	4.3	1.1	▲5.4	▲4.7	▲4.3	▲6.4	▲3.3
電気機械工業	▲0.1	2.5	1.5	▲3.2	▲1.0	▲1.0	▲0.7	1.0
輸送機械工業	0.7	2.6	0.0	▲5.2	▲3.5	▲4.9	▲4.7	0.0
化学工業	10.4	3.0	▲1.3	▲3.2	▲1.9	1.5	▲0.6	▲1.2
パルプ・紙・紙加工品工業	3.0	4.4	5.8	▲3.7	1.2	2.2	▲0.6	▲5.3
食品工業	3.1	2.5	▲1.7	▲3.7	▲4.0	▲4.7	▲1.3	0.4

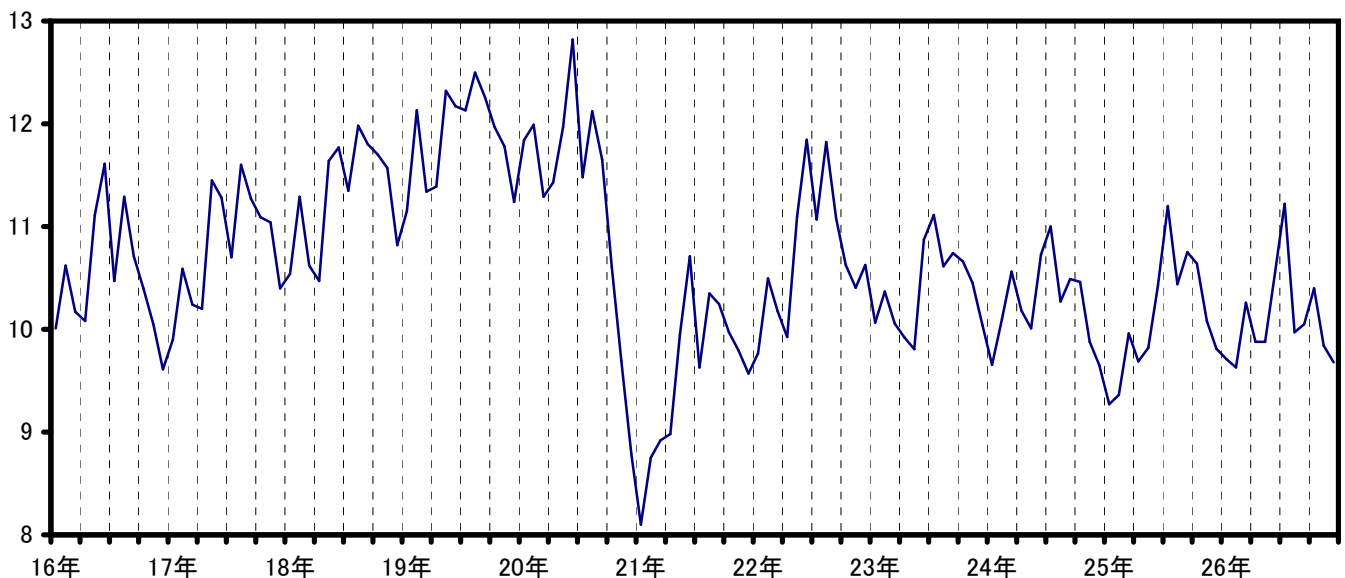
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

11月 = 90.6

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.8%減

*前年同月比(原指数) : 6.7%減

<概況>

11月の鋳工業生産指数(総合)は90.6(季節調整済指数)で、前月比2.8%減となり、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は6.7%減と5か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.3%減)が3か月ぶり、電気機械(同9.7%減)が2か月連続、輸送機械(同7.7%減)が5か月連続、化学(同1.3%減)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.7%減)が4か月連続、食料品・たばこ(同9.2%減)が6か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	101.5	95.6	92.0	94.3	90.5	91.4	93.2	90.6
前月比(%)	▲1.2	▲5.8	▲3.8	2.5	▲4.0	1.0	2.0	▲2.8
前年同月比(%)	1.5	1.9	1.3	▲1.7	▲4.3	▲0.4	▲4.5	▲6.7
(参考)全国前年同月比(%)	4.1	0.8	3.2	▲0.9	▲2.9	0.6	▲1.0	▲3.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	10.0	3.9	11.4	17.8	▲4.7	36.6	13.5	▲7.3
電気機械工業	14.3	0.4	▲0.4	▲4.9	▲11.0	1.3	▲0.4	▲9.7
輸送機械工業	▲3.2	7.2	6.6	▲2.8	▲2.0	▲6.0	▲4.3	▲7.7
化学工業	▲9.3	▲11.6	▲5.4	▲16.3	▲5.2	▲5.8	▲19.6	▲1.3
パルプ・紙・紙加工品工業	2.9	2.7	1.2	6.5	▲9.2	▲0.2	▲2.4	▲2.7
食料品・たばこ工業	3.3	0.6	▲9.7	▲3.7	▲6.3	▲8.8	▲7.7	▲9.2

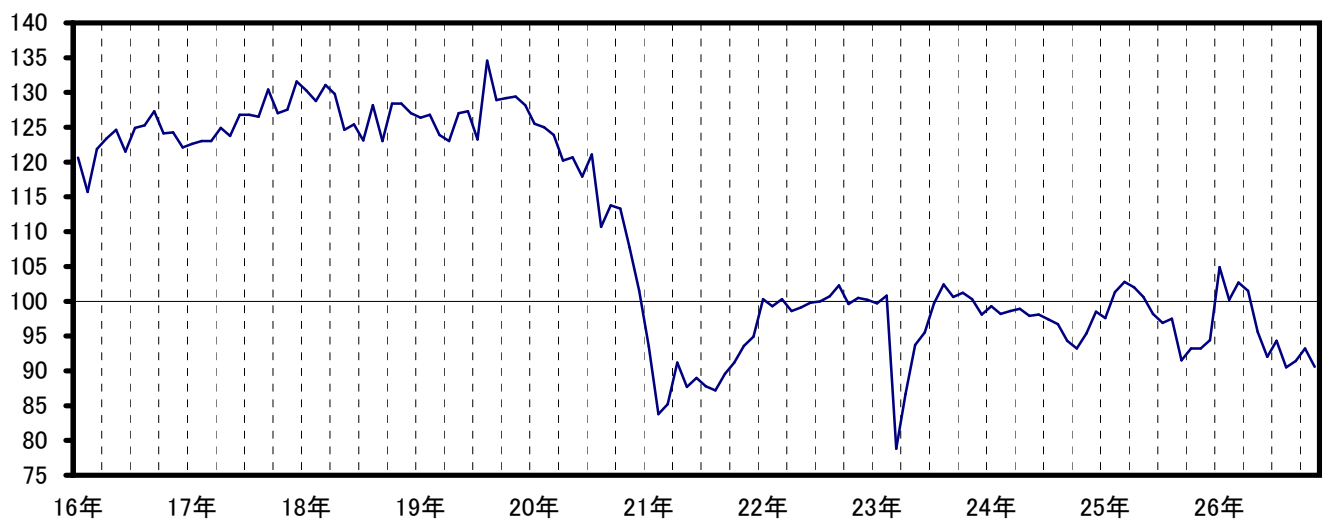
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

11月 = 102.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.8%減

*前年同月比(原指数) : 0.9%増

<概況>

11月の鉱工業在庫指数(総合)は102.9(季節調整済指数)で、前月比は0.8%減と5か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は0.9%増と7か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比2.6%減)が2か月連続、輸送機械(同3.2%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.7%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同29.6%増)が11か月連続、化学(同2.4%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同2.8%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	102.3	108.9	113.3	112.3	110.1	106.6	103.7	102.9
前月比(%)	▲3.7	6.5	4.0	▲0.9	▲2.0	▲3.2	▲2.7	▲0.8
前年同月比(%)	▲3.3	4.8	8.0	6.3	5.0	1.3	1.0	0.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.9	0.8	2.7	2.8	4.7	3.9	3.9	6.4

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.7	7.2	8.7	7.8	0.7	2.1	▲1.9	▲2.6
電気機械工業	20.2	19.3	25.4	36.0	35.4	33.5	35.5	29.6
輸送機械工業	▲40.8	0.7	12.1	▲13.6	▲5.2	▲18.5	▲6.8	▲3.2
化学工業	▲1.2	12.8	25.1	28.4	6.3	9.4	▲2.8	2.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲7.1	▲1.4	0.2	6.0	3.2	▲1.1	▲4.6	▲0.7
食料品・たばこ工業	1.8	▲6.8	1.0	▲8.6	9.2	9.0	8.7	2.8

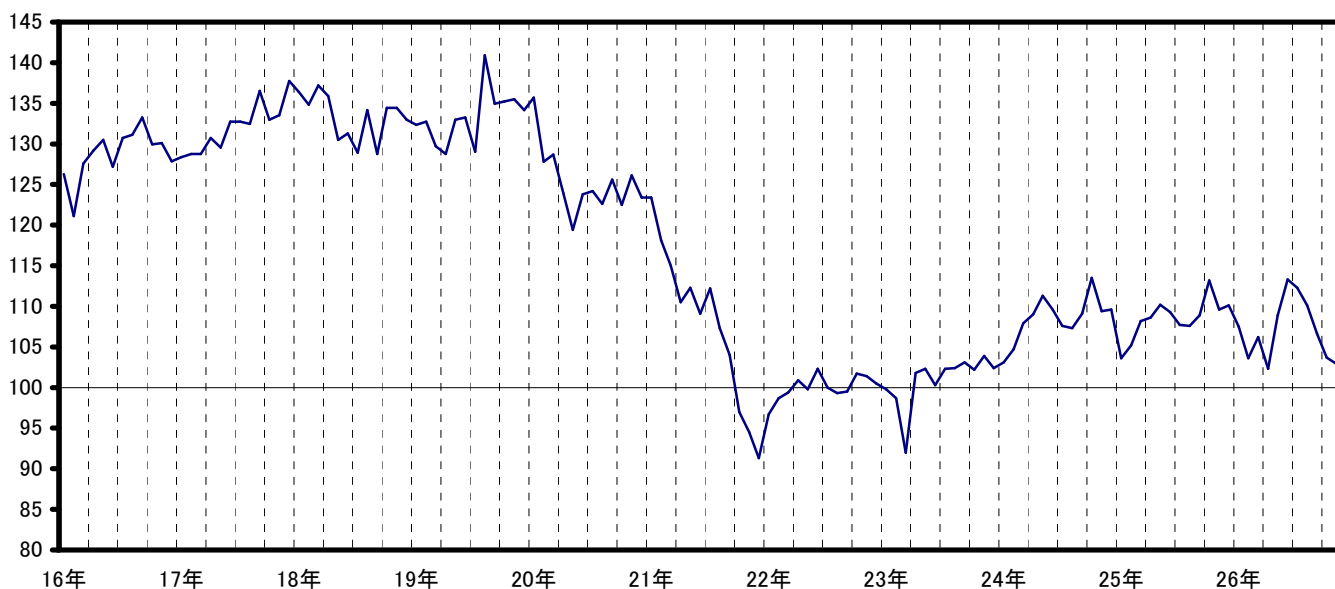
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

12月 = 1.13倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.13倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、3か月ぶりに全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比13.6%増）は18か月連続で前年実績を上回った。

これを産業別にみると、建設業（同2.7%減）で前年実績を下回ったものの、製造業（同11.4%増）、情報通信業（同87.2%増）、運輸業・郵便業（同9.3%増）、卸売業・小売業（同26.7%増）、医療・福祉（同24.6%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同8.2%増）で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.07	1.08	1.06	1.08	1.08	1.10	1.12	1.13
全 国	1.09	1.10	1.10	1.10	1.09	1.10	1.12	1.15

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	17.8	16.8	0.5	8.6	2.9	3.1	3.5	▲ 2.7
製 造 業	32.7	38.7	8.9	10.9	18.1	8.2	12.1	11.4
情 報 通 信 業	57.6	128.1	8.4	61.8	71.3	27.2	19.1	87.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	22.0	22.9	23.7	12.1	10.4	8.1	▲ 8.2	9.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 14.4	12.4	33.9	48.0	36.5	1.7	49.1	26.7
医 療 ・ 福 祉	3.4	32.0	28.9	7.7	22.1	24.0	13.5	24.6
サービス業（他に分類されないもの）	48.8	30.5	11.4	11.2	38.4	▲ 1.1	▲ 3.5	8.2
合 計	14.9	29.1	8.5	12.6	19.0	11.5	7.5	13.6

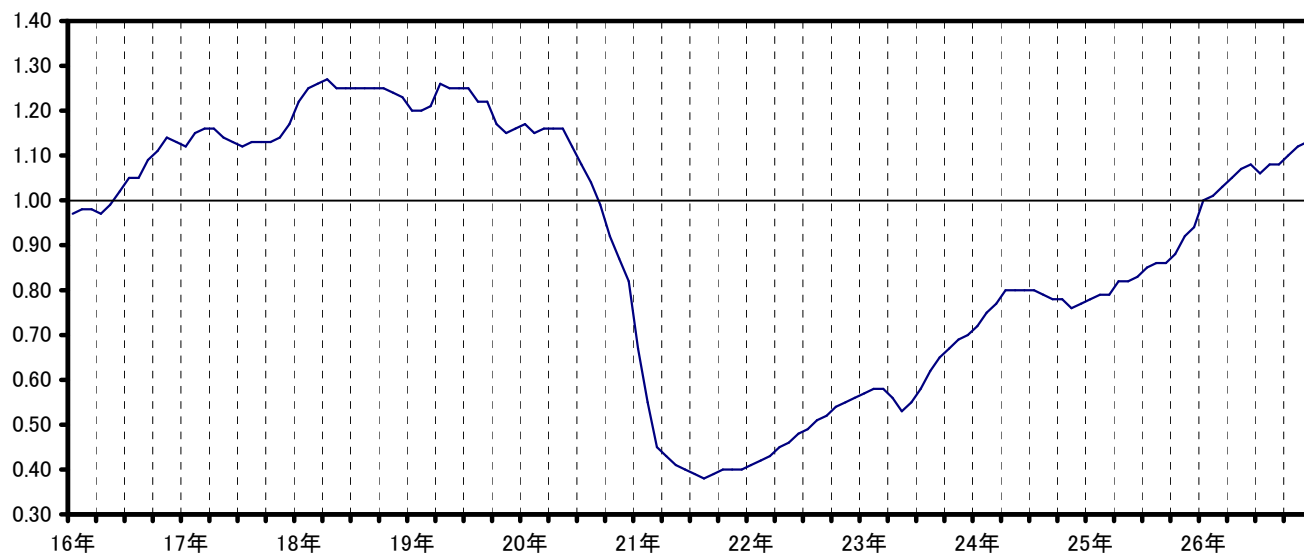
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 13,847人

*前月比: 2.2%減

*前年同月比: 6.7%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は13,847人で、前月比は2.2%減と2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は6.7%減と17か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.4%で、前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(平成26年7~9月)の完全失業率は2.7%で、前期(26年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	15,086	15,274	15,818	15,612	15,544	15,653	14,160	13,847
前月比(%)	10.8	1.2	3.6	▲1.3	▲0.4	0.7	▲9.5	▲2.2
前年同月比(%)	▲17.1	▲15.7	▲16.3	▲13.5	▲9.7	▲6.9	▲8.2	▲6.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲16.3	▲12.4	▲13.2	▲12.9	▲8.8	▲10.4	▲11.2	▲8.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	3.5	3.7	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4

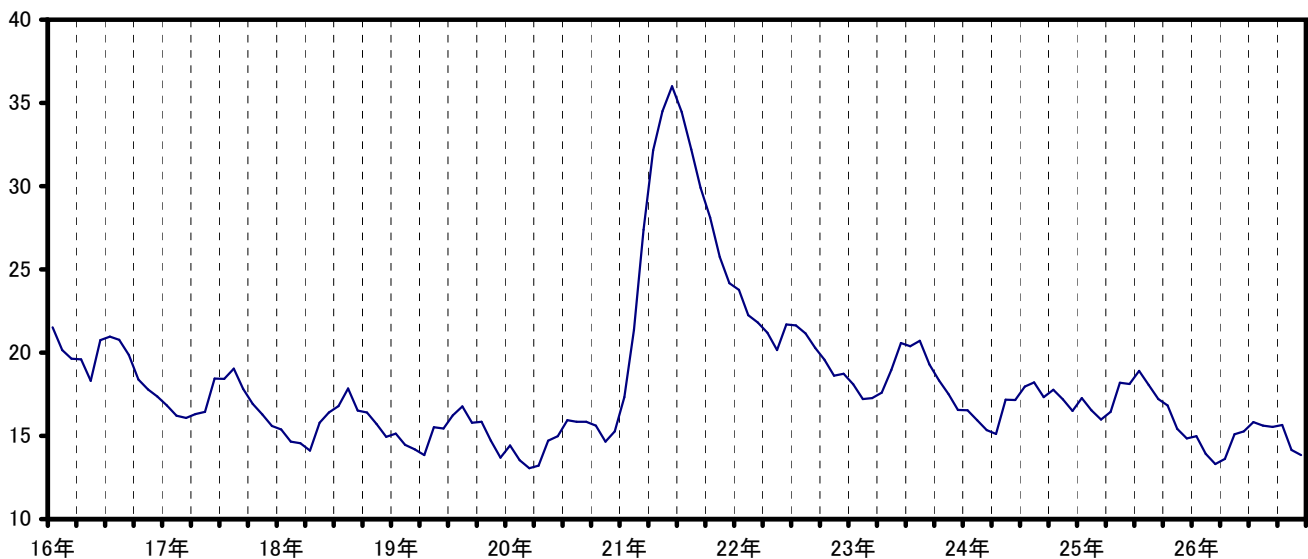
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

11月 = 101.6

*前月比(季節調整済指数): 0.6%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.1%減

<概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は101.6(季節調整済指数)で、前月比0.6%減となった。また、前年同月比(原指数)は2.1%減となり、4か月ぶりに前年水準を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比1.0%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同3.3%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、建設業(同2.0%減)が3か月連続、情報通信業(同2.8%減)が7か月ぶり、運輸業・郵便業(同2.1%減)が7か月連続、卸売業・小売業(同2.6%減)が6か月ぶり、その他のサービス業(同5.2%減)が16か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	107.7	98.8	101.2	95.7	102.4	102.1	102.2	101.6
前月比(%)	▲3.8	▲8.3	2.4	▲5.4	7.0	▲0.3	0.1	▲0.6
前年同月比(%)	10.0	4.9	4.7	▲1.6	3.1	4.7	1.5	▲2.1
(参考)全国前年同月比(%)	5.4	3.3	2.5	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	13.8	9.7	0.7	▲9.3	3.9	▲14.9	▲22.4	▲2.0
製造業	9.3	6.4	3.0	▲1.2	6.9	1.8	0.0	1.0
情報通信業	▲19.6	31.1	6.2	6.9	48.5	48.1	70.1	▲2.8
運輸業・郵便業	10.3	▲3.1	▲9.9	▲1.1	▲7.2	▲2.1	▲0.5	▲2.1
卸売業・小売業	12.8	▲9.8	0.0	0.0	2.7	4.3	1.4	▲2.6
医療・福祉	12.8	8.6	23.6	▲1.7	1.8	5.2	10.6	3.3
その他のサービス業	25.9	20.4	14.4	12.1	11.1	6.9	5.7	▲5.2
調査産業計	10.0	4.9	4.7	▲1.6	3.1	4.7	1.5	▲2.1

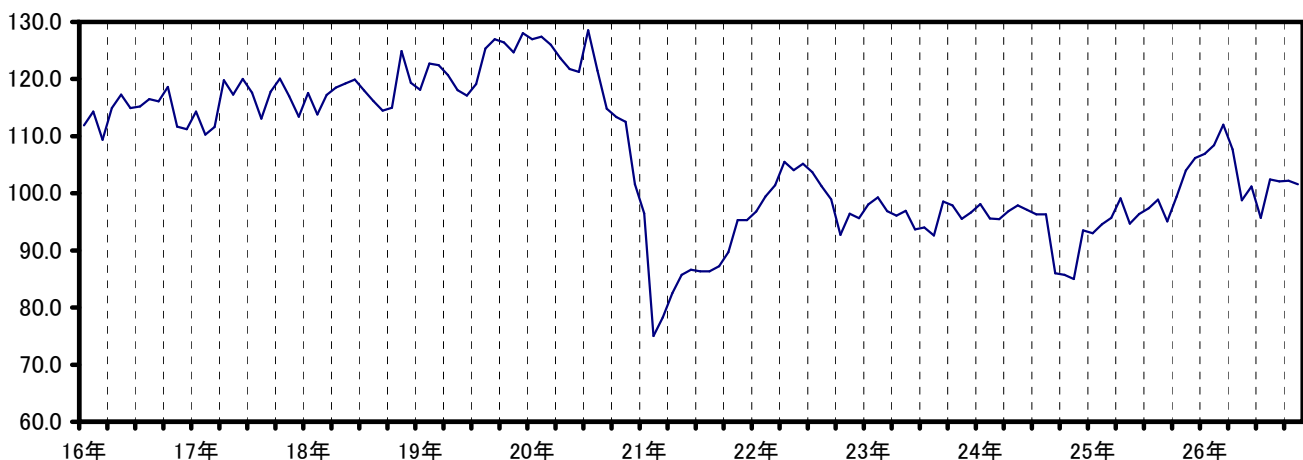
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

1 月 = 103.3

*前月比: 1.3%下落

*前年同月比: 0.3%上昇

(平成22年=100)

<概況>

1月の国内企業物価指数は103.3となり、前月比は1.3%の下落となった。また、前年同月比は0.3%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月
国内企業物価指数	106.2	106.3	106.2	106.1	105.5	105.2	104.7	103.3
前月比 (%)	0.2	0.4	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.3
前年同月比 (%)	4.5	4.4	3.9	3.6	2.9	2.6	1.8	0.3

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

1 月 = 102.8

*前月比: 0.1%下落

*前年同月比: 2.2%上昇

(平成22年=100)

<概況>

1月の消費者物価指数(総合)は102.8となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は2.2%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月
消費者物価指数	103.5	103.6	103.7	103.9	103.5	103.0	102.9	102.8
前月比 (%)	0.0	0.1	0.1	0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.1
前年同月比 (%)	3.9	3.8	3.6	3.5	3.0	2.5	2.2	2.2

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 133,572億円

*前月比: 1.4%増

*前年同月比: 3.2%増

(銀行、信用金庫)

<概況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は133,572億円で、前月比1.4%増、前年同月比は3.2%増となった。

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	129,340	130,174	130,472	130,566	132,656	131,113	131,751	133,572
前月比 (%)	0.2	0.6	0.2	0.1	1.6	▲ 1.2	0.5	1.4
前年同月比 (%)	3.2	2.4	3.2	2.7	2.9	3.1	3.2	3.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

12月 = 2.118%

*前月差: 0.008ポイント減

*前年同月差: 0.048ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.118%で、前月から0.008ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.048ポイントのプラスとなった。

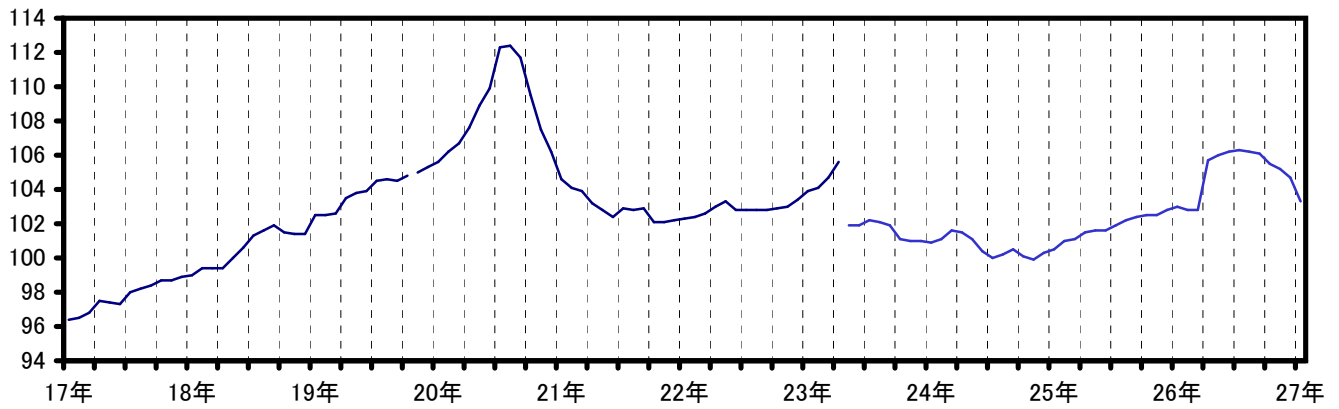
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利 (%)	2.093	2.076	2.092	2.112	2.109	2.124	2.126	2.118
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.017	0.016	0.020	▲ 0.003	0.015	0.002	▲ 0.008
前年同月差(ポイント)	▲ 0.009	▲ 0.005	0.002	0.030	0.043	0.042	0.044	0.048

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

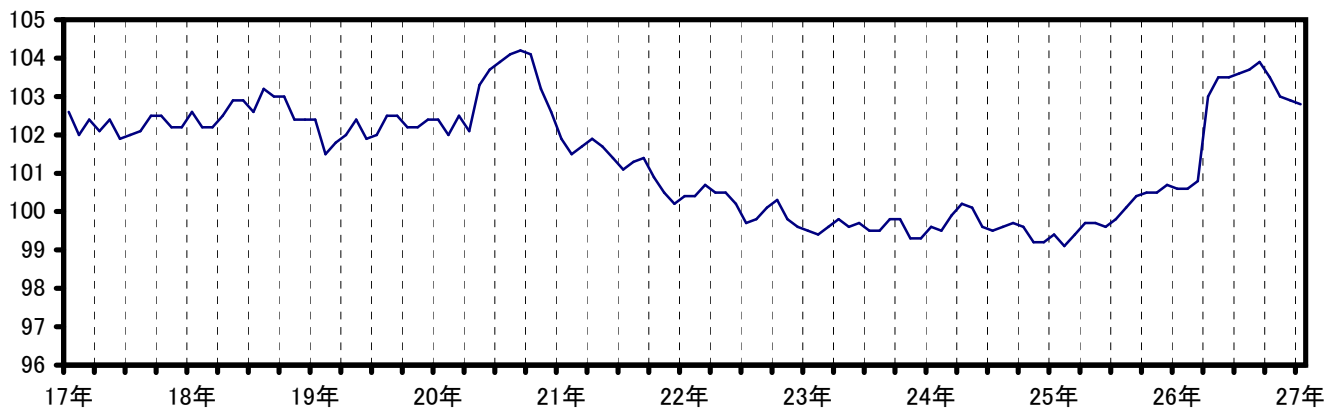
国内企業物価指数(平成22年=100)

＜資料＞日本銀行



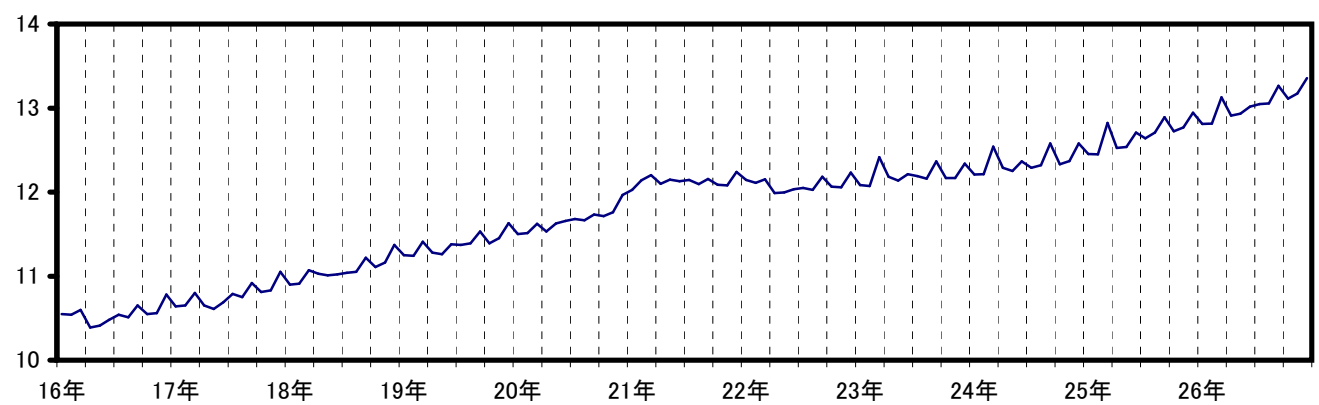
消費者物価指数(平成22年=100)

＜資料＞県統計調査課



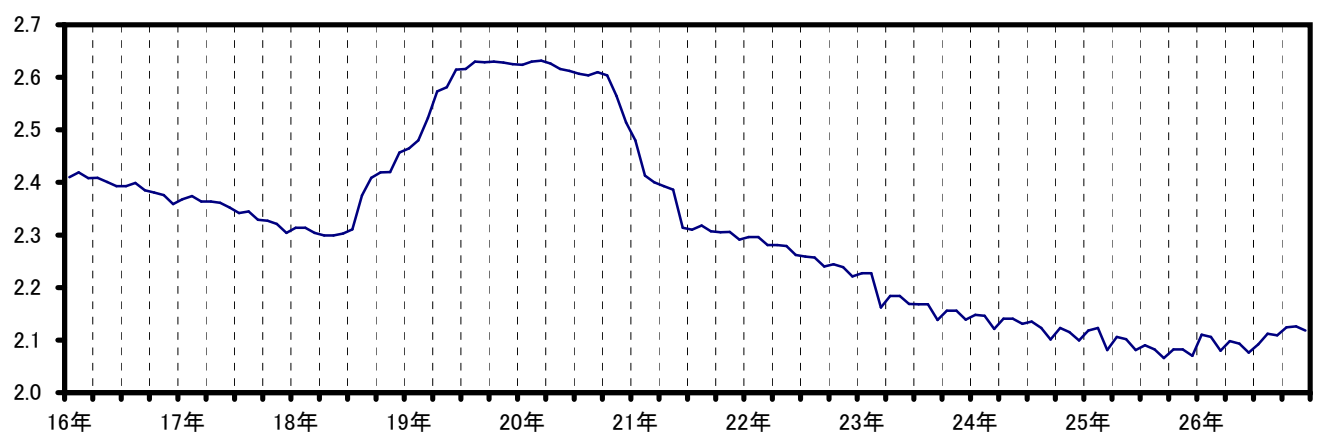
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**12月 = 30,756百万円**

*前年同月比： 8.7%減

<概況>

12月の保証承諾は、金額が30,756百万円（前年同月比 8.7%減）と26か月連続で前年実績を下回り、件数は3,173件（同 6.0%減）と42か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	22,369	25,478	25,588	21,610	26,540	20,926	21,189	30,756
前年同月比（%）	▲ 9.8	▲ 10.5	▲ 9.2	▲ 15.6	▲ 12.7	▲ 11.9	▲ 18.6	▲ 8.7
保証件数（件）	2,347	2,710	2,735	2,290	2,827	2,206	2,165	3,173
前年同月比（%）	▲ 14.4	▲ 5.8	▲ 9.1	▲ 12.7	▲ 4.8	▲ 13.5	▲ 19.5	▲ 6.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**1月 = 118.24円/ドル**

*前月差： 1.16円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 14.30円安

<概況>

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は118.24円で、前月と比べて1.16円の円高となり、6か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月
平均相場（円）	102.05	101.72	102.96	107.09	108.06	116.22	119.40	118.24
前月差（円）	0.26	▲ 0.33	1.24	4.13	0.97	8.16	3.18	▲ 1.16
前年同月差（円）	4.62	2.01	5.09	7.85	10.21	16.19	15.94	14.30

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****1月 = 25件**

*前年同月比： 8.6%増

<概況>

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は25件、負債総額は6,396百万円といずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の80.0%を占め、206か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

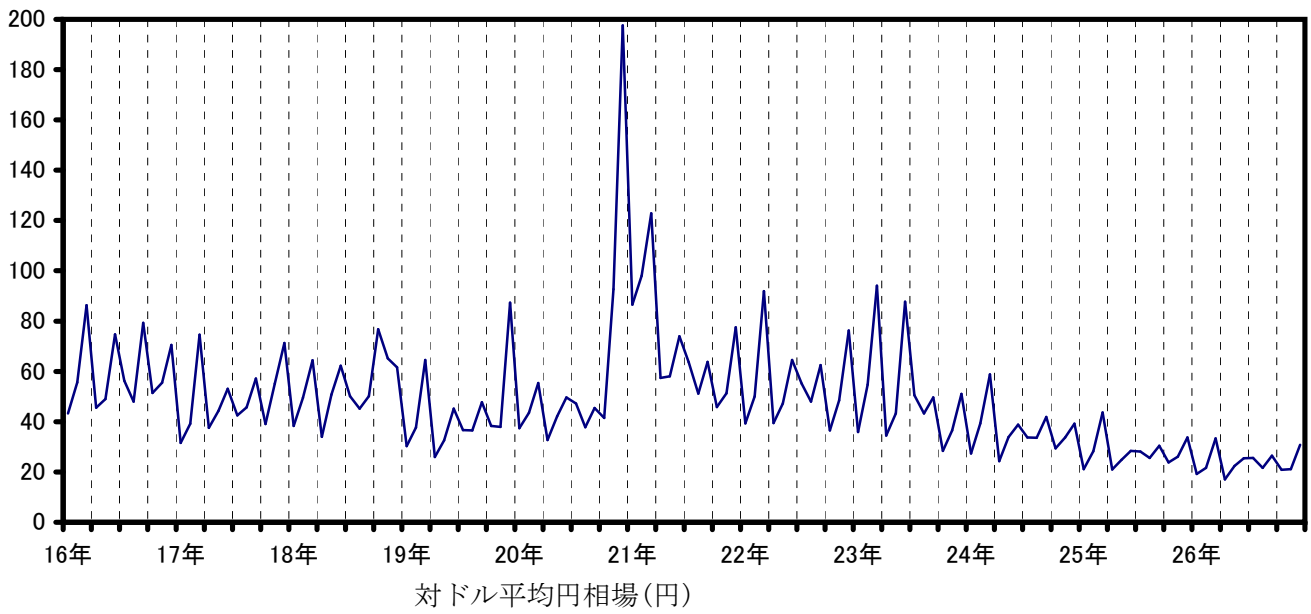
	26年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月
倒産件数（件）	31	28	25	31	30	24	22	25
前年同月比（%）	▲ 3.1	▲ 12.5	▲ 7.4	63.1	▲ 11.7	▲ 29.4	▲ 26.6	8.6
うち不況型倒産件数（件）	25	24	22	28	20	24	17	20
負債総額（百万円）	4,056	4,204	4,690	7,686	3,183	2,935	3,941	6,396
前年同月比（%）	▲ 5.8	▲ 9.8	▲ 41.0	18.5	▲ 61.3	▲ 29.9	▲ 34.1	92.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

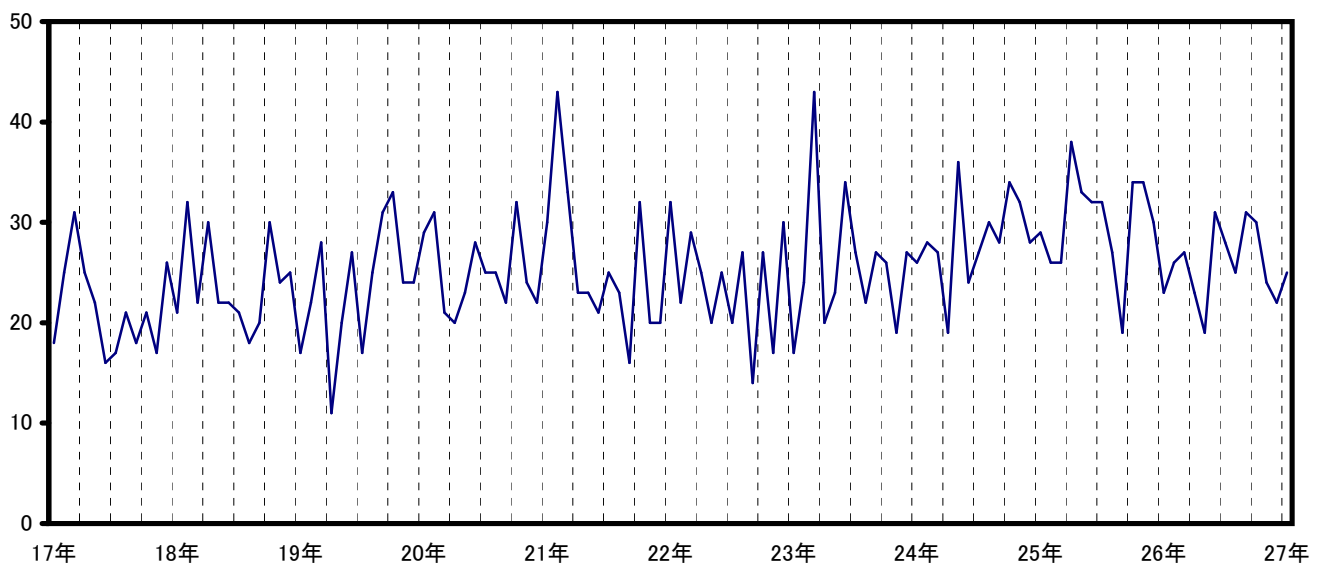
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成26年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>12月の国内二輪車生産台数は、51,520台（前年同月比11.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数では、国内は27,705台（同16.6%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。車種別では、軽二輪車（126cc～250cc）のみが4,941台（同 6.2%増）と前年実績を上回った。</p> <p>輸出向けも47,211台（同 2.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回ったが、原付第一種（50cc以下）は2,339台（同112.6%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>12月の自動車国内生産台数は766,945台（前年同月比 2.5%減）となり、6か月連続で前年同月を下回った。また、輸出は381,113台（同 0.5%増）となり、5か月ぶりに前年同月を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックともマイナスとなっていることから、全体でも6か月連続でマイナスとなっている。</p> <p>輸出は、アジア向けが2か月連続、欧州向けが4か月連続でマイナスとなったものの、北米向けが9か月ぶりにプラスとなったことから、全体では5か月ぶりに前年同月を上回っている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は、366億8,800万円（前年同月比20.3%減）、また、国内出荷台数は327千台（同19.7%減）となり、ともに3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けが590千台（同15.1%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。また、業務用は63千台（同 1.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>消費者の白物家電に対する消費マインドの底堅さは引き続きあるものの、好調であった昨年に対し、前年比で厳しいものになった。</p> <p>11月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、2,505千台（同 1.6%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは1,482千台（同 8.3%増）であり、冬商戦モデルの出荷が本格化したことで、10か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率も59.2%と、2か月連続で5割を超えた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,442億4,800万円（前年同月比 33.9%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は961億300万円（同 35.3%増）、内需が481億4,500万円（同 31.1%増）といずれも前年実績を上回った。</p> <p>円安を背景に、引き続き外需が好調であり、内需も好調であるものの、県内中小企業者からは、円安に伴う原材料費の高騰に苦慮する声が聞かれるなど、採算面では厳しい環境が続いている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億1,400万円（前年同月比14.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億8,600万円（同 2.6%減）で、国内向けが27億2,800万円（同 24.1%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,633台（同 11.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,713台（同 11.6%減）、グランドピアノが920台（同 10.1%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,790台（同 0.6%増）、国内向けが1,535台（同 17.2%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、2,164千ト（前年同月比 0.8%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,223千ト（同 0.1%減）で、9か月連続で前年実績を下回り、板紙も942千ト（同 1.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、660千ト（同 0.7%減）と9か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、165千ト（同 2.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け751千箱（前年同月比 6.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は559千箱（同 6.8%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶も385千箱（同 12.2%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は192千箱（同 3.6%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,593千箱（同 10.2%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,535千㎡（前年同月比5.4%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,496千㎡（同5.3%減）であり、別珍・コールテンの生産は、39千㎡（同10.2%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、37千㎡（同21.1%減）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、国内外の展示会に出展し、新規需要・販路開拓を図っている。1月には、海外の一流ブランドの服地買い付け担当を本県に呼び、地元企業との商談会が行われた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、66億9,100万円（前年同月比17.3%減）で、大型量販店での家具・インテリアの販売額は594億9,900万円（同2.3%減）であった。</p> <p>販売額が昨年より大きく減少した背景として、昨年は消費税率引上げによる大型消費財の駆け込み需要があり例年に比べ販売額が多かったこと、一方で、今年は、降水量、降雪量が多かった影響で売上が伸び悩んだことなどが挙げられる。</p> <p>こうした中、県内業界では、県内の地場産品をPRする展示販売会への出展、冬物の工場直売会、自社ショールームでの展示即売会等のイベントを開催するなどして、販売促進に取り組んでいる。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>12月の県内百貨店の売上高は、前年同月比2.9%減となった。12月は前年に比べ日曜日が1日少なかったことと、前半に雨天日が多かったことが影響し、3か月連続の前年割れとなった。</p> <p>また前年同月より、消費税増税前の駆け込み需要が本格化したことから、その反動減も影響している。</p> <p>全国的にみても、大都市に比べ、地方の消費回復は遅れている。</p> <p>部門別では、主力の衣料品のうち、紳士服が3.7%減、婦人服が7.1%減、子供服が12.1%減となり、衣料品全体で6.5%減と3か月連続で前年を下回った。</p> <p>靴、鞆等の身の回り品は7.5%減となった。</p> <p>食料品は、年末年始用の高級食材やおせちの需要が期待されたものの、生鮮食品が3.2%減、菓子が5.3%減、惣菜が2.7%減、その他食料品が0.3%減と伸び悩み、食料品全体で2.8%減と落ち込んだ。</p> <p>一方で富裕層による大口購入がみられる、美術・宝飾・貴金属は21.0%増と好調に転じた。</p> <p>化粧品も0.4%増となり、2か月連続で前年を上回った。</p> <p>県内スーパーの景気状況は、「やや上向き」「横ばい」と好調傾向であった。売上や来客数は前年をやや下回っているものの、クリスマスや年末年始に向けた販促対策が功を奏し、好評価につながった。</p> <p>県内商店街の来街客の状況については、「やや上向き」「横ばい」と商店街によって分かれた。クリスマスやイルミネーション等の冬のイベントや年末年始の連休が好影響となり、来街客の増加につながった。</p> <p>＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約22万人で、前年同月比16.3%の減となった。休日の悪天候と気温の低下が影響している。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約67万台で、前年同月比18.0%の増である。継続して伊豆中央道の通行量が大幅に増加している。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	13,234	14,437	15,861	21,600	16,426	20,320	25,301	22,094	21,785
前年同月比(%)	8.2	16.4	24.8	22.5	12.0	12.3	29.0	9.6	18.2
KD輸出額(百万円)	1,224	1,056	1,209	1,110	956	1,265	1,018	1,151	1,194
前年同月比(%)	14.5	10.4	13.6	5.0	▲6.4	14.3	▲10.5	▲6.4	18.2

<楽器>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	4,509	4,365	4,702	4,759	3,332	3,852	3,846	3,429	3,467
前年同月比(%)	25.9	18.1	30.7	27.7	9.5	15.6	▲2.2	▲12.1	▲5.0

<缶詰>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	961	919	906	971	875	873	903	859	755
前年同月比(%)	▲1.5	▲12.6	▲14.1	▲4.4	4.9	▲7.6	▲0.9	▲7.1	▲6.1
うち水産缶詰(%)	▲3.2	▲15.5	▲13.6	▲3.1	8.9	▲6.8	5.8	▲2.2	▲5.9
農畜産缶詰(%)	3.6	▲3.2	▲15.7	▲8.0	▲5.2	▲10.3	▲18.9	▲20.9	▲6.6
飲料缶生産高(千ケース)	8,725	9,268	9,101	8,954	8,195	6,170	6,252	6,943	6,593
前年同月比(%)	2.2	8.6	6.5	▲11.6	▲11.9	▲27.5	▲22.1	▲15.5	▲10.2

<繊維>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,545	1,257	1,232	1,170	1,094	1,299	1,430	1,580	1,535
前年同月比(%)	1.1	▲5.6	▲12.6	▲10.1	▲4.6	▲3.6	▲5.9	▲4.7	▲5.4
小幅織物(千㎡)	35	38	39	39	39	42	38	36	37
前年同月比(%)	▲11.5	▲24.1	▲19.0	▲19.4	▲17.6	▲11.7	▲19.4	▲23.5	▲21.1

<観光>

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	650	895	444	261	565	433	357	401	218
前年同月比(%)	53.7	56.3	20.1	▲20.6	1.9	▲1.0	▲5.2	▲2.4	▲16.3
有料道路(5路線)通行量 (千台)	671	762	628	702	841	679	649	696	674
前年同月比(%)	21.8	26.7	19.7	12.0	7.8	18.5	17.7	16.5	18.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年2月号 通巻466号

発行 静岡県経済産業部
平成27年2月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2650
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>